

週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 中村たけとし 小林えみ子
☎(752)0453 ☎(409)5475 ☎(482)5451

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5
TEL (483) 1151

「防災行政無線が聞こえない」—防災ラジオの配布提案

「防災行政無線が聞こえない」「何を言っているのかわからない」という声が多く聞かれます。日本共産党は、災害情報をいち早く多くの市民に伝え、市民の安全を守るために全戸に防災ラジオを配布することを3月議会で提案しました。秋葉市長は「調査研究をしたい」と答弁しました。これは12月議会で台風26号の被災者から「水につかるまで浸水に気づかなかった」という声があり、「被災地域には早急に防災ラジオの配布を」と主張したことに続くものです。

市内で聞こえるのは約6割の世帯



市当局は、アンケート調査によれば防災行政無線が聞こえるのは市内全世帯の約6割程度ということが質疑のなかで明らかになりました。これでは災害情報を伝えるうえで不十分です。聞こえない要因は、地形や高いビルなどが障がいになっていること、また近年建築物の密閉性が高まっていることなどがあります。これらを改善するには屋外拡声機だけでは限界があります。

全国の市町村は屋外拡声機プラス戸別受信機で改善

全国の市町村の改善例を見ますとよりはっきりします。下表に見るように圧倒的に屋外拡声機にプラスして防災ラジオ、メール、ケーブルテレビなどの戸別受信機を配備しています。八千代市も防災ラジオを自治会長さんなどに1090台配布しているそうです。しかし、これだけの台数ではどうにもなりません。全戸を対象にした取り組みが必要です。

なお防災ラジオは、屋外拡声機の建設と一体で整備される場合には、国の「緊急防災・減災事業」の対象となり事業費の70%が交付税に算入されます。この制度を利用することや年度ごとの計画的配布などによって財政負担が軽減されます。

日本共産党は災害から市民の安全をまもる防災対策に引き続き取り組みます。

全国市町村防災行政無線の整備状況

| 市町村数 | 整備団体数 | 屋外拡声機のみ | 屋外拡声機と戸別受信機(一部配備) | 屋外拡声機と戸別受信機(全戸配備) | 戸別受信機のみ |
|-------|-------|---------|-------------------|-------------------|---------|
| 1,742 | 1,364 | 205 | 708 | 383 | 8 |
| | 78.3% | 15.0% | 56.3% | 28.1% | 0.8% |

(消防庁資料・2013年3月31日現在)